

特別支援教室拠点校および巡回指導エリア

小学校

■ 拠点校
● 巡回校

杉並第三小学校	杉並第七小学校	桃井第二小学校	高井戸第四小学校	富士見丘小学校
● 杉並第十小学校 ● 馬橋小学校 ● 高円寺小学校	● 杉並第一小学校 ● 杉並第二小学校 ● 杉並第六小学校	● 西田小学校 ● 荻窪小学校 ● 天沼小学校	● 桃井第三小学校 ● 井荻小学校 ● 松庵小学校	● 高井戸小学校 ● 高井戸第二小学校 ● 久我山小学校
大宮小学校	八成小学校	三谷小学校	松ノ木小学校	永福小学校
● 和田小学校 ● 方南小学校 ● 済美小学校	● 杉並第九小学校 ● 桃井第五小学校 ● 沓掛小学校	● 桃井第一小学校 ● 桃井第四小学校 ● 四宮小学校	● 東田小学校 ● 浜田山小学校 ● 堀之内小学校	● 高井戸第三小学校 ● 高井戸東小学校 ● 新泉和泉小学校

中学校

東田中学校	中瀬中学校	高井戸中学校	泉南中学校
● 高円寺中学校 ● 高南中学校 ● 阿佐ヶ谷中学校 ● 杉森中学校 ● 東原中学校	● 天沼中学校 ● 井荻中学校 ● 井草中学校 ● 荻窪中学校	● 松溪中学校 ● 宮前中学校 ● 富士見丘中学校 ● 西宮中学校 ● 神明中学校	● 松ノ木中学校 ● 大宮中学校 ● 和田中学校 ● 向陽中学校 ● 和泉中学校

難聴通級指導学級（きこえの教室） 通級区域

小学校通級区域

高井戸小学校

● 区内全小学校

中学校通級区域

高井戸中学校

● 区内全中学校

言語障害通級指導学級（ことばの教室） 通級区域

小学校通級区域

高井戸第四小学校	杉並第十小学校	高井戸小学校
● 桃井第一小学校 ● 桃井第三小学校 ● 桃井第四小学校 ● 桃井第五小学校 ● 四宮小学校 ● 荻窪小学校	● 井荻小学校 ● 沓掛小学校 ● 松庵小学校 ● 八成小学校 ● 三谷小学校	● 杉並第一小学校 ● 杉並第二小学校 ● 杉並第三小学校 ● 杉並第六小学校 ● 杉並第七小学校 ● 杉並第九小学校 ● 東田小学校 ● 馬橋小学校
● 桃井第二小学校 ● 西田小学校 ● 桃井第二小学校 ● 高井戸第二小学校 ● 高井戸第三小学校 ● 浜田山小学校 ● 富士見丘小学校	● 堀之内小学校 ● 和田小学校 ● 方南小学校 ● 済美小学校 ● 天沼小学校 ● 新泉和泉小学校 ● 高円寺小学校	● 大宮小学校 ● 松ノ木小学校 ● 高井戸東小学校 ● 久我山小学校 ● 永福小学校

中学校には「言語障害通級指導学級」はありません。



杉並区立小中学校における

特別支援教室

難聴通級指導学級

（きこえの教室）

言語障害通級指導学級

（ことばの教室）

特別支援教室

特別支援教室は、知的な遅れはないものの、集団での学習活動で困りごとを抱えている子どもたちのための通級学級です。自閉症（ASD）、情緒障害、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）があり、在籍学級での学習におおむね参加できるものの、通常の学級での指導・支援に加え、一部特別な指導を必要とする子どもが対象です。

学校生活でこのようなことはありませんか

気持ちの切り替えが難しい

- 場の空気を読み、状況を判断して動くことが苦手である。
- 好きなことに集中しすぎて、それ以外がおろそかになる。
- 急な予定の変更などにパニックを起こすことがある。



運動や体の動きを器用にできない

- 体育が全般的に苦手で、やる気がないように見える。
- ドッジボールや大なわなどの集団遊びの輪の中に入れない。
- 楽器や道具の扱いが上手くできない。
- 手先を使った細かな作業が苦手である。
- ルールの理解が難しい。



不注意で気が散りやすい

- 整理整頓が苦手で、忘れ物が多い。
- 授業やテストなどに集中できず、うっかりミスが多い。
- 音や光、皮膚感覚に過敏に反応して集中できない。



コミュニケーションがうまく図れない

- 思ったことをそのまま口にしてしまったり、自分をうまく表現できなかったりして、友だち関係がぎくしゃくする。
- 興味や関心があることを一方的に話すことがある。
- 人の気持ちを察することが苦手、相手の反応を気にしない。



衝動的に動いてしまう

- 周囲の刺激に反応して、すぐに動いてしまう。
- 順番を待てずに割り込んでしまう。
- 手を出したり、大きな声で騒いだりしてしまう。



勉強に得意不得意があり、力を発揮しにくい

- 授業には参加できても、音読、読解、聞き取り、作文、書字、計算、推論するなど特定の分野が極端に苦手である。
- ノートをとることが難しく、授業に集中できない、課題を提出できないことがある。



特別支援教室の目的は、お子さんの学習や生活上の困りごとを改善し、できるだけ多くの時間、在籍学級で他の子どもたちと共に、有意義な学校生活を過ごせるようになることです。

特別支援教室のしくみ

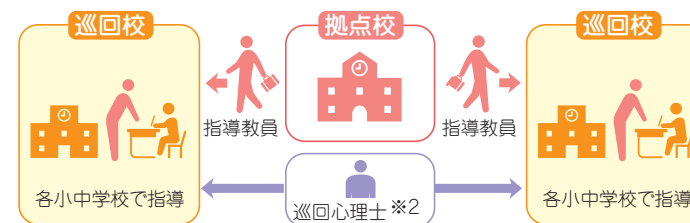
区内小中学校全校に設置しています

特別支援教室は、各学校の中に設置しています。拠点校から巡回指導教員が訪問し、決められた時間に特別支援教室での授業を行います。

特別支援教室拠点校と巡回校

特別支援教室の実施にあたっては、巡回エリア※1を編成し、巡回指導教員がエリア内の学校を巡回して、指導を行います。

■特別支援教室のしくみ



※1 小学校・中学校の巡回エリアについては、裏表紙に記載しています。
※2 「巡回心理士」は、月1回程度各校を訪問します。

入室の時期

- ・毎年度4月または9月となります。
- ・事前に入室に関する判定委員会があります。詳しくはP6をご覧ください。

指導期間の考え方

原則の指導期間は1年間です

進級や学校生活のサイクルが年度単位であることから、原則の指導期間を1年間としています。これを踏まえ、学校生活を送るうえでの中心的な課題や困りごとの克服に向けて計画的に指導し、1年間のサイクルが終了する時点で必ず振返りをを行います。

※年度途中から利用の場合は、翌年度末までが原則の指導期間となります。

指導期間の延長

指導期間の終了後、必要な場合は指導を1年間延長し、延長終了後には改めて支援策を検討し、お子さんの状況に応じた適切な支援を行っています。

※年度途中から利用の場合は、指導期間の延長はできません。

特別支援教室での指導・支援

困りごとに応じた指導をします

特別支援教室での授業は、週1回程度、1日1～2時間を基本とし、一人ひとりのニーズに合わせて、指導内容や方法、時間などを、保護者や在籍校と相談して決定します。個別指導と小集団指導を必要に応じて組み合わせていきます。

個別指導

一人ひとりの特性や課題に応じて工夫された教材を使って学習する時間を作ります。「わかった」「勉強はおもしろい」と思える体験を積み重ね、自信と意欲を育てていきます。苦手なことや、得意なことを通して、自己理解を進めます。

小集団指導

数人のグループで体を動かしたり、ゲームをしたりする中で、コミュニケーション力やルールを理解する力を育てていきます。

●コミュニケーションの学習

自分も相手も気持ちよく過ごすために、「上手な言葉でのやりとり」や「相手の気持ちを考える」学習をします。

●運動

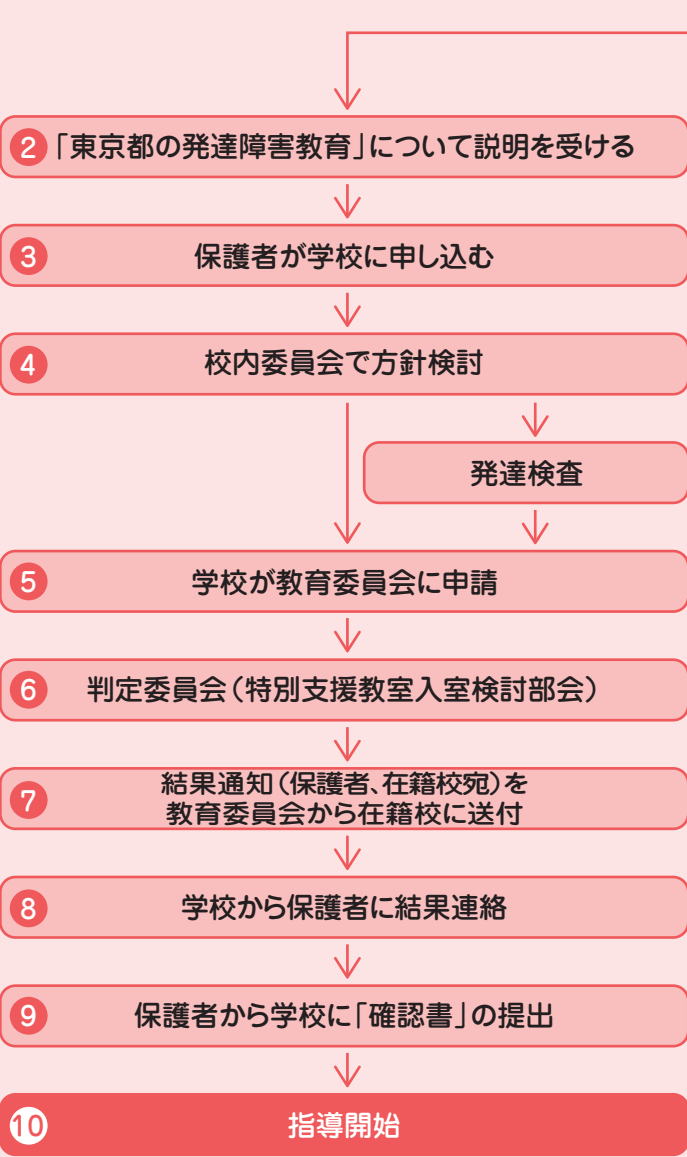
「感覚統合」の視点で体を動かす練習などをしていきます。ゲーム的活動を通して、「ルールを守る」「勝ち負けを受け入れる」などの経験も積み重ねていきます。



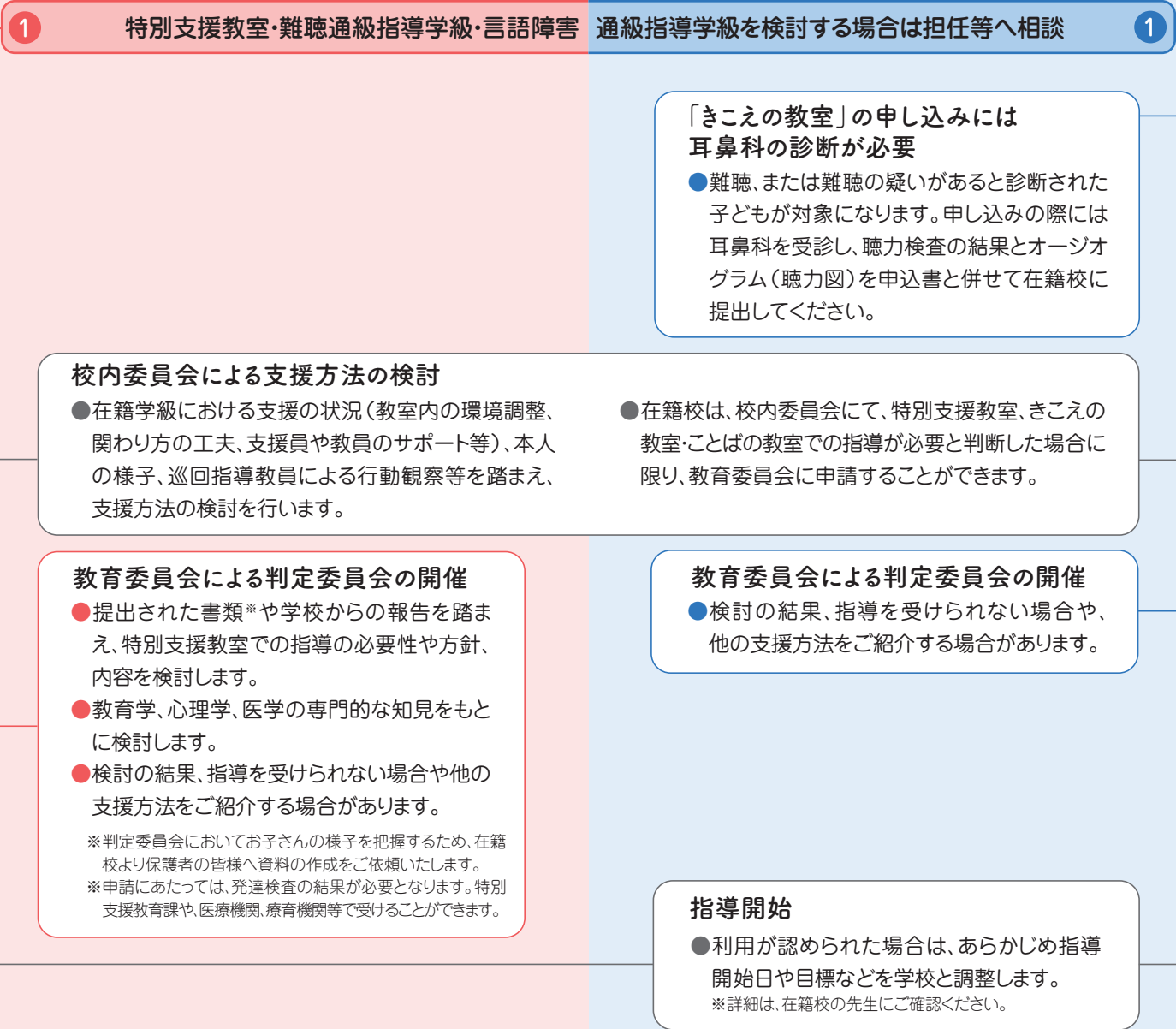
5

利用の流れ（小学校・中学校共通）

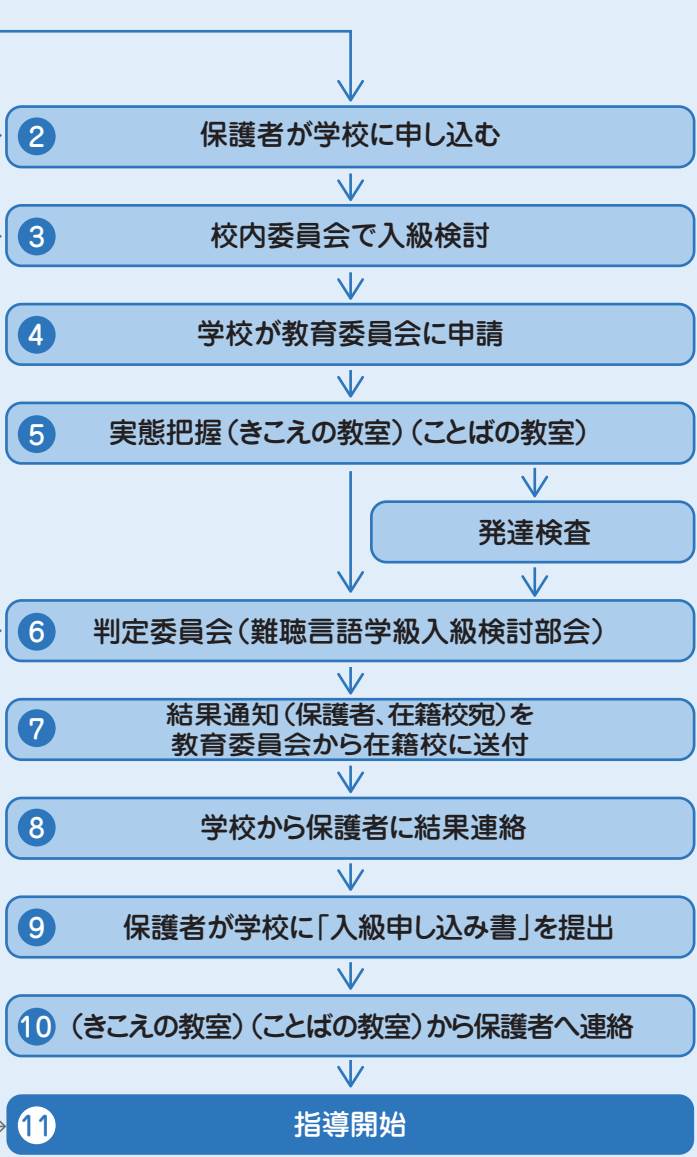
特別支援教室の手続き



在籍学級における個別の指導・支援の実施



難聴通級指導学級（きこえの教室）
言語障害通級指導学級（ことばの教室）
の手続き



Q&A 保護者の疑問に答えます！

- Q 特別支援教室で学んでいる間、通常の学級の授業は受けられないのでしょうか。
A 特別支援教室で学んでいる時間の在籍学級での授業内容は、家庭学習で補うことが前提です。学習内容について、学級担任や教科担任と相談しながら進めていきます。
- Q 特別支援教室を退室すると、支援が途切れてしまうのではないのでしょうか。
A 特別支援教室の退室は、支援の終了を意味するものではありません。退室後は、特別支援教室での学びを生かしながら、在籍学級を中心に必要な支援を行っていきます。

- Q 一度、退室したら、再入室はできなくなるのでしょうか。
A 退室後でも、必要があれば再入室できます。児童・生徒が設定された目標を達成して退室した後でも、再度校内委員会及び判定委員会で「一部特別な指導が必要」と判断された場合、特別支援教室に入室して指導を受けることができます。
- Q 今後、高等学校に進学した場合、特別支援教室のような制度はありますか。
A 都立高校では、全校で通級による指導を実施できる仕組みが整っています。詳細については、東京都教育委員会のホームページをご確認ください。



Q&A 保護者の疑問に答えます！

- Q 通級期間はどのくらいが一般的ですか？
A 子どもの状況や抱える課題が異なるため、指導終了の目安もそれぞれです。最終的には、保護者や在籍学級の担任と通級指導学級の担任の三者で話し合って決定します。
- Q 指導の時間は在籍校では、欠席扱いですか？
A 「出席」として扱われます。通級の曜日や時間は、保護者と在籍学級の担任、通級学級の担任の三者で話し合って決めます。

- Q 仕事をしていると送り迎えが難しい。
A 原則として保護者に送迎をお願いしていますが、社会福祉協議会のファミリーサポート等を利用することもできます。
- Q わが子へのかかわり方を学べますか？
A 「きこえ」「ことば」に悩みを抱える子を、「育てにくい」と感じる保護者は少なくありません。しかし、通級指導の様子を見学し、担任や専門家の先生と話す機会を持つことで、「子どもとの関係が良くなった」「コミュニケーションしやすくなった」という声も多く聞かれます。